

■センポ・スギハラ・メモリアル完成式典



第二次世界対戦中、ユダヤ人難民を救済するために命のビザを発給した外交官杉原千畝氏の人道的功績を称え、杉原氏が学んだ旧制第五中学、現瑞陵高校にセンポ・スギハラ・メモリアルが開設されました。名称の「センポ」はユダヤの人々が「ちうね」ではなく親しみを込めて「センポ」と呼んでいたことが由来です。式典ではイスラエル駐日大使をはじめ感動的な祝辞が生徒たちに贈られました。

●稲沢市戦没者追悼式が厳かに挙行され、地元県議を代表し昭和から平成、そして新たな年号へと時代が移っても教訓を風化させないよう杉原千畝施設完成式典でのイスラエル大使の言葉も紹介し御霊に哀悼の誠を奉げました。



■東京オリ・パラフラッグツアー高御堂小学校訪問イベント



東京オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの小中学校訪問イベントが愛知県内では稲沢市立高御堂小学校で開催され、フラッグセレモニーではオリンピックの村上陸子氏（1996年アトランタ五輪出場、常滑市出身、現・岩屋）が全校児童の前でオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを市長、校長先生、児童代表に引継ぎました。その後、オリンピアの講演、全校児童との記念撮影、交流給食と続き6年生児童に体育館でバスケットボールの実技指導が行われ楽しいイベントが締めくくられました。

■愛知県表彰

第70回愛知県表彰が挙行政され、社会福祉、教育文化等の分野で顕著な功績を収められた46名と2団体の皆様が表彰されました。稲沢市からは稲沢市文化協会会長（元愛知県文化協会連合会副会長）の福島俊治氏が、また稲沢市関係では信竜会の溝口和子氏（元（社）愛知県私立保育園連盟副会長）が表彰されました。

また、消防団関係優良事業所表彰式では、稲沢市の愛知文教女子短期大学はじめ12団体の皆さんが、地元自治体の消防団活動に対する協力が他の規範となる特に優秀な事業所として大村知事から感謝状を授与されました

■頑張る！地域の防災訓練

平和地区の前浪自治会で第1回防災フェスが前浪の皆さんをはじめ近隣の東城、那古良の方も参加されて開催されました。前浪区長の酒井氏は防災ボランティア稲沢でござ一緒にさせていただきます。開催には地元役員・ボランティアの皆さんほか、稲沢市危機管理課、社協、消防、地元企業などのご協力を頂き、地域の防災意識の向上に取組まれました。

防災ボランティア稲沢として幸町の防災訓練に参加しました。各行政区で消火器や三角巾などの防災訓練が実施されていますが幸町は半日かけて地震発生から公園に集合、各組長の安否確認の報告等の後、大塚小学校へ避難開始、体育館では間仕切やベッド組立、愛知文教女子短期大学の皆さんとの炊出し訓練など本格的に行われていました

愛知県議会議員 鈴木純 公式ホームページ

<http://www.step21.net>



鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791



愛知県議会報告 J-PRESS

 新政あいichi 県議団

責任者: 鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX 052-961-3766

愛知県議会報告は新政あいichi県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

稲沢市制祝！60周年

愛知県議会12月定例会には、来春3月29日告示4月7日執行（投票・開票）の愛知県議員選挙費今年度分約5億46百万円を含む約41億3千万円増の一般会計補正予算、給与改定に伴う74百万円増の5特別会計及び約1億2百万円増の4企業会計の予算関係10件、都道府県では全国初となる**愛知県認知症施策推進条例**の制定や県議会議員選挙の選挙運動用ビラの作成を公費負担とする条例の一部改正など条例関係15件、愛知県公立大学法人中期目標の策定についてなどその他の議案20件の計45議案が提出され、可決・同意しました。

一般会計の補正予算では、10月に策定したAichi-Startup 戦略に基づきスタートアップ企業の積極的支援に約7百万円（外に債務負担行為約85百万円）の予算を計上したほか、国の産地パワーアップ事業に対し要件を引下げ

（露地栽培3ha以上、施設栽培1ha以上）県独自の補助制度を創設し農業者の生産力強化を図るため1億円（繰越明許費1億円）の予算等も成立しました。

さて、2019年、平成最後の31年は、知事選、県議選、参議院選（衆参同時？）、市議選と選挙の一年です。



マニフェスト大賞2018

マニフェスト大賞に向けて議会改革や市民提案など色々な分野での優秀賞のプレゼン研修大会があり、新政あいichi総務会長代行として出席しました。会場で行われたネット投票の結果、ブレゼンの金賞は岡山県立新見高校に輝きました。全国からの応募総数2242件の中から大賞は成果賞優秀賞の犬山市議会が受賞、新政あいichiは残念ながらノミネートに終わりましたが、ノミネートの認定証をマニフェスト研究所所長北川名譽教授（審査委員長）から頂きました。



新政あいichiは議会改革はもとより地域の政策集団として、少子高齢人口減少社会や老朽化するインフラ等に対し共通する課題や単一自治体では解決できない課題に対し160人を超える地方議員の仲間と連携し広域的な政策提言に取組んでいます。**未来へつづくまちづく**りへ一生懸命働きます。

▲写真上は日本と真ん中まつりのジュニア部門で金賞に輝いた大里中学校の「里中乱舞」、左下はノミネート認定書の授与です。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)
すずき 純

■稲沢市制 60 周年記念式典 18.11.1

平成 30 年 11 月 1 日 稲沢市制 60 周年記念式典が日本と真ん中まつりジュニア部門で金賞に輝いた大里中学校の「里中乱舞」や豊田合成トレフェルサ、ソニー HC ブラビア・レディース等のオープニングで盛大に始まり、市民栄誉賞の久納昇辰様をはじめ、市政功労者表彰、公益功労表彰、市制 60 周年記念特別表彰の皆様が表彰されました。鈴木も平成最後の市制記念日に際し、明治 11 年に中島郡が発足して稲葉に郡役所が置かれて以来、明治、昭和、平成の大合併など各地域でご尽力頂き、今の稲沢市の礎を築き、発展にご貢献頂いた皆様に感謝し、未来へ向けて祝辞を述べさせて頂きました。



■NEXT60(Nex+55+5)刊行

稲沢市制 50 周年に発行した NEXT50 ですが、55 周年の NEXT50+5 に続き今回 60 周年を記念して NEXT55+5 を発行しました。



■産業労働委員会県外調査 18.11.1～2

北九州市八幡西区の安川電機ロボット村では、日本で初めて全電気式産業用ロボットを発売して以来世界の産業用ロボット市場をリードしてきた安川電機が、ものづくりの楽しさなどと共にロボット技術の最先端と活用の可能性を発信するための施設調査と工場も見学させて頂きました。

北九州市小倉北区にある北九州テレワークセンター：COMPASS コンパス小倉では日本一起業家に優しいまちを目指す北九州市が、スタートアップ支援の取組としてまちぐるみで創業を応援することを目的に日本最大級のコワーキングスペース(シェアオフィス)を新たに整備したその取組について調査しました。

■日光川水系河川改修等国要望 18.10.31

日光川水系改修促進期成同盟会及び日光川右岸堤防災害道路建設促進期成同盟会の国要望に顧問として出席しました。関係の首長さんほか総勢 50 人規模で東京駅からバスで移動し、国交省(衆議院議員工藤大臣政務官、藤井大臣官房長他)、衆議院、参議院、財務省(太田主計局長他)などを長坂代議士にご案内頂きました。



■都道府県議会議員研究交流大会

第 18 回都道府県議会議員研究交流大会が東京で開催され愛知県議会からは 10 名が、全国からは 500 名を超える議員・事務局が参加しました。基調講演は自治体戦略 2040 年構想と地方自治と題して牧原東京大学先端科学技術研究センター教授から、人口減は忍び寄る危機とし 2040 年頃から逆算し対応する観点から圏域における地方公共団体の協力関係、公共私のベストミックス、スマート自治体への転換等を拝聴しました。

また、地域医療・介護の将来像と題して行われた第 5 分科会では島崎政策研究大学院大学教授などから、医療制度改革における都道府県の役割の増大、地域医療・介護の将来像と政策課題、富山型デイサービスなどの話を伺い、鈴木からは愛知県が進めるオレンジタウン構想に触れ認知症サポーターなどに対する子ども達への取組など意見交換しました。

■公営企業会計決算特別委員会

平成 29 年度決算は例年通り 9 月議会で決算特別委員会を設置し閉会中の継続審査となりました。鈴木が委員長を拝命した公営企業会計決算特別委員会では、県立病院事業会計決算、水道事業会計決算、工業用水道事業会計決算、用地造成事業会計決算について、病院事業庁、企業庁から説明並びに監査委員会から審査意見書の報告を受け、医療機能の充実・強化が進められてきた病院事業や耐震化を進めている水道事業、純利益が増加した造成事業などについて委員の活発な審査の後、全員一致で認定することと致しました。12 月の本会議での委員長報告ののち 4 特別会計を認定、剰余金処分計算書案については可決しました。

■連合愛知尾張南地協タウンミーティング

認知症について学ぼう 連合愛知は、働くことを軸とする安心社会の理解・実現に向けてタウンミーティングを実施していますが、今回の連合愛知尾張地域協議会のタウンミーティングは、認知症について学ぼう身近に迫る認知症～助け合う地域社会を目指して！と題して楽しく有意義な講演が行われました。

認知症の最新医療と予防では名古屋大大学院医学系研究科神経内科教授勝野氏より認知症の発症メカニズムなどを、認知症サポーターキャラバン事業の取組と展望では全国キャラバン・メイト連絡協議会副事務局長石黒氏より認知症政策の転換は 2004 年 12 月に痴呆から認知症になった点や認知症サポーターの 2 割以上が 10 代などの講演を頂きました。

■稲沢市金婚式

ご成婚 50 周年の金婚式は高度経済成長の中昭和 43 年にご結婚された皆様で、半世紀に亘る家庭・地域・社会へのご貢献に地元県議を代表して鈴木から感謝とお祝いを述べさせて頂きました。



祝品贈呈代表者 家田御夫妻 謝辞代表者 小田御夫妻



平成 29 年度	予算額合計(千円)	決算額(千円)
県立病院事業	50,048,003	47,234,545
水道事業	61,336,523	58,049,805
工業用水道事業	26,912,151	25,412,872
用地造成事業	59,085,076	52,817,198
合 計	197,381,754	183,514,422



●愛知県認知症施策推進条例

認知症の人及びその家族が地域社会を構成する一員として自分らしく安心して暮らし続けられることなどを基本理念として、認知症の理解を深め予防に努めるとともに県・市の取組に協力するよう求める**県民の役割**、認知症の人及びその家族が働きやすい環境の整備・雇用の継続への配慮を求めるなど**事業者の役割**、県民の理解、見守り体制の整備、情報発信機会の確保、認知症研究の推進など**県の責務**を定めました。



●社会福祉協議会の募集で西日本豪雨災害ボランティア(岡山県真備町)